

秋吉台

8月は葉月、葉っぱの最盛期！！

8月は別名葉月といわれます。植物の葉が最盛期を迎え、これを境にこれ以上に緑濃くならず、次第に秋の装いへと移行していくこととなります。とは言え、まだまだ暑い日は続くことと思われます。先日、知人と地獄台へ行きました。パラッと小雨の後の陽射しで蒸し暑さを覚えました。登っていくにつれて、さわやかな風が吹き始め、歩を休めては目の前に広がる広大な景色をながめました。足元ではムラサキセンブリやウメバチソウがその時を待つかのように育っています。草の中に混じってキセワタも咲いています。立秋を過ぎて、草花たちはそれぞれに秋の訪れを感じているのでしょうか。



季節の花

みんなそれぞれの場所で…

キセワタ 草原に映えるシソ科の多年草です。数年前までは各所で見かけたのですが、だんだんと姿を消し、今では数ヶ所で咲いています。濃い草の中で、淡いピンク色の花が目にとまります。

サイヨウシャジン 草原に映える多年草です。草の茂みの中から、スッと立ち上がるようにして咲いているので、離れたところからでも分かります。花は小さな釣鐘状で、色は淡紫色から淡青色、たまに純白色もあって、思わずカメラを向けてしまいますが、なかなかうまく撮れません。

ミズタマソウ あまり日の当たらない少し湿気のある木陰などに生える多年草です。小さな白い花がまとまって付きます。目立たない花なのですが、見かけた時には、こんなところに咲いていたんだと思わず撮ってしまうかわいい花です。



スヌーピー岩

おや！ そこに居たのか…

日本最大のカルスト台地、秋吉台。石灰岩は幾つぐらいあるのでしょうかと尋ねられると、大きな塊が1個だけと答えます。が、それはそれのお話し。その露出した石灰岩ですが、その形状から名前の付いたものがいくつかあります。その一つがスヌーピー岩。秋吉台を散策する人たちからそう呼ばれています。なんとも愛嬌のある容姿です。地獄台や烏帽子岳へ登るときには気が付きませんが、帰りには、なんだそこに居たのかと思います。



ジャコウアゲハ

3年ぶりに大量発生

今年は3年ぶりにジャコウアゲハが産卵して、その幼虫が大量発生しました。そのため屋根まで伸びたウマノスズクサは、日に日に食べられてしまい、硬い茎の部分しか残っていません。それでも幼虫たちはそれに抱き着くようにしてかじっています。成長の早いものからサナギになり羽化していきます。そしてウマノスズクサを探しているのでしょうか、辺りを飛び回っています。もう大好きなウマノスズクサはありませんよ…。



タカサゴユリ

みんな真っ白に変身した???

台湾原産の多年草です。タネからでもよく増えるため群生しているのを見かけることもあります。花は細長いラッパ状で長さは15cmほど。外側は赤褐色を帯びたり筋が入ったりしています。最盛期は8月頃ですが、晩秋にポツンと咲いていることもあります。よく似た花にシンテツポウユリがありますが、これには赤褐色の部分がなく全体が白色です。最近はこちらの方が多く見られるようになりました。タカサゴユリが美白へと変身したのでしょうか。



9月の行事 変更

9月24日(日)に計画の「ヒガンバナの観察」は、次のとおり日時と内容を変更いたします。

変更 10月7日(土) 秋の花の観察会「花盗人の花日記」

秋吉台、真名ヶ岳を散策して秋の花を楽しみましょう。